



## 2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年4月25日

上場会社名 小林製菓株式会社

上場取引所 東

コード番号 4967 URL <https://www.kobayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 章浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 グループ統括本社本部長 (氏名) 山根 聡

TEL 06-6222-0142

四半期報告書提出予定日 2019年5月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	33,735	0.1	5,287	5.0	5,219	3.6	3,683	3.6
2018年12月期第1四半期	33,715	9.6	5,567	12.3	5,416	11.6	3,821	10.6

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 4,992百万円 (98.5%) 2018年12月期第1四半期 2,515百万円 (2.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	46.65	
2018年12月期第1四半期	48.39	48.34

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第1四半期	220,457	165,693	75.2	2,103.98
2018年12月期	228,787	166,249	72.7	2,102.49

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 165,693百万円 2018年12月期 166,249百万円

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		31.00		35.00	66.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		33.00		35.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	173,000	3.3	27,300	3.8	27,900	1.9	19,000	5.4	240.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	82,050,000 株	2018年12月期	82,050,000 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	3,297,637 株	2018年12月期	2,977,337 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	78,948,587 株	2018年12月期1Q	78,963,259 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の経営成績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国の経済は、政府による景気対策の継続などにより企業収益や雇用の改善など回復基調が見られ、個人消費についても緩やかな回復基調が見られます。

そうした状況のなか、当社グループは「“あったらいいな”をカタチにする」をブランドスローガンに、お客様のニーズを満たす新製品の発売や、既存製品の育成、今後の成長事業への投資に努めてまいりました。

その結果、売上高は33,735百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は5,287百万円（前年同期比5.0%減）、経常利益は5,219百万円（前年同期比3.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,683百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績の概要は次のとおりです。

国内家庭用品製造販売事業

当事業では、毎年春と秋に新製品を発売しており、2018年度に発売した新製品のうち、より効果感の高いEX処方の黒ずんだひじ・ひざのザラザラ治療薬「クロキュアEX」や、毛穴が目立つポツポツ肌治療薬「ケアノキュア」、きらめくクリスタルボトルと最上級の香水調の香りの水洗トイレ用芳香洗浄剤「ブルーレットPremium PERFUME」、コスメチックのような華やかな香りの芳香消臭剤「お部屋の消臭元 プリンセスパルファム」などが売上に貢献しました。なお、今春は10品目の新製品を発売いたします。

既存品においては、ヘルスケアでは肥満改善薬「ナイトール」、女性保健薬「命の母」、舌下錠タイプのいぼ痔治療薬「ヘモリンド」、角膜修復・保護成分を配合した薬液で目の汚れやホコリを洗い流す「アイボン」など、日用品では水洗トイレ用芳香洗浄剤「ブルーレット」やおりもの専用シート「サラサーティ」、鼻呼吸を促すテープ「ナイトミン 鼻呼吸テープ」など、スキンケアではニキビ・肌あれ予防の薬用ローション「オードムーゲ」などが好調に推移しました。

その結果、売上高は26,884百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益（経常利益）は4,699百万円（前年同期比4.7%減）となりました。営業利益は4,384百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第1四半期連結累計期間では1,387百万円、当第1四半期連結累計期間では1,563百万円となっております。

(外部顧客への売上高の内訳)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
ヘルスケア	13,248	13,478	229	1.7
日用品	9,722	9,822	100	1.0
スキンケア	1,268	1,527	259	20.4
カイロ	1,241	491	△749	△60.4
合計	25,481	25,320	△160	△0.6

海外家庭用品製造販売事業

当事業では、米国・中国・東南アジアを中心に、カイロや額用冷却シート「熱さまシート」、外用消炎鎮痛剤「アンメルツ」などを販売しており、広告や販売促進など積極的に投資することで、売上拡大に努めました。

その結果、売上高は5,959百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益（経常利益）は712百万円（前年同期比2.4%減）となりました。営業利益は707百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第1四半期連結累計期間では208百万円、当第1四半期連結累計期間では276百万円となっております。

(外部顧客への売上高の内訳)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	増減	
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
米国	1,562	1,265	△296	△19.0
中国	2,045	2,332	286	14.0
東南アジア	1,250	1,444	193	15.5
その他	545	641	96	17.6
合計	5,403	5,683	279	5.2

通信販売事業

当事業では、栄養補助食品、スキンケア製品等の通信販売を行っており、広告やダイレクトメールを中心とした販売促進による、新規顧客の開拓と既存顧客への購入促進に努めました。

その結果、売上高は2,439百万円(前年同期比5.5%減)、セグメント利益(経常利益)は77百万円(前年同期比281.2%増)となりました。営業利益は77百万円(前年同期比311.8%増)となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

その他事業

当事業には、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおり、各社は独立採算で経営し、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は1,478百万円(前年同期比2.5%増)、セグメント利益(経常利益)は223百万円(前年同期比5.8%増)となりました。営業利益は141百万円(前年同期比122.0%増)となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第1四半期連結累計期間では1,195百万円、当第1四半期連結累計期間では1,186百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ8,329百万円減少し、220,457百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少(2,545百万円)、受取手形及び売掛金の減少(12,247百万円)、商品及び製品の増加(3,351百万円)、投資有価証券の増加(1,628百万円)等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ7,773百万円減少し、54,764百万円となりました。主な要因は、電子記録債務の減少(1,005百万円)、未払金の減少(6,627百万円)、未払法人税等の減少(1,916百万円)、賞与引当金の増加(1,057百万円)等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ555百万円減少し、165,693百万円となり、自己資本比率は75.2%となりました。主な要因は、自己株式の増加(2,780百万円)、その他有価証券評価差額金の増加(1,156百万円)、利益剰余金の増加(915百万円)等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の連結業績予想につきましては、2019年1月31日付け公表の「平成30年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	74,456	71,911
受取手形及び売掛金	53,386	41,139
有価証券	8,300	8,300
商品及び製品	9,430	12,781
仕掛品	934	993
原材料及び貯蔵品	3,279	3,371
その他	2,167	3,188
貸倒引当金	△131	△113
<b>流動資産合計</b>	<b>151,824</b>	<b>141,571</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	8,447	8,347
機械装置及び運搬具(純額)	4,466	4,456
工具、器具及び備品(純額)	1,457	1,422
土地	3,625	3,625
リース資産(純額)	515	739
建設仮勘定	512	670
<b>有形固定資産合計</b>	<b>19,024</b>	<b>19,263</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	3,241	3,108
商標権	108	105
ソフトウェア	905	954
その他	567	564
<b>無形固定資産合計</b>	<b>4,823</b>	<b>4,733</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	45,916	47,545
長期貸付金	386	415
繰延税金資産	1,627	1,735
投資不動産(純額)	2,956	2,949
その他	2,697	2,752
貸倒引当金	△469	△508
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>53,115</b>	<b>54,889</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>76,963</b>	<b>78,886</b>
<b>資産合計</b>	<b>228,787</b>	<b>220,457</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,706	8,846
電子記録債務	9,070	8,064
短期借入金	506	490
未払金	25,126	18,498
リース債務	53	132
未払法人税等	4,423	2,507
未払消費税等	1,187	940
返品調整引当金	1,638	1,637
賞与引当金	2,355	3,413
資産除去債務	42	42
その他	1,940	2,554
流動負債合計	55,053	47,128
固定負債		
リース債務	472	610
繰延税金負債	2,812	2,818
退職給付に係る負債	2,057	2,044
役員退職慰労引当金	38	38
資産除去債務	77	77
その他	2,027	2,045
固定負債合計	7,485	7,635
負債合計	62,538	54,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,183	4,183
利益剰余金	159,857	160,773
自己株式	△11,763	△14,543
株主資本合計	155,728	153,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,636	13,792
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	△318	△234
退職給付に係る調整累計額	△1,798	△1,730
その他の包括利益累計額合計	10,520	11,830
純資産合計	166,249	165,693
負債純資産合計	228,787	220,457

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	33,715	33,735
売上原価	12,438	12,448
売上総利益	21,276	21,287
販売費及び一般管理費	15,709	15,999
営業利益	5,567	5,287
営業外収益		
受取利息	58	72
受取配当金	4	7
不動産賃貸料	73	73
その他	79	25
営業外収益合計	215	178
営業外費用		
支払利息	4	4
売上割引	149	138
不動産賃貸原価	19	21
為替差損	160	23
その他	32	58
営業外費用合計	367	246
経常利益	5,416	5,219
特別利益		
その他	0	3
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産除売却損	12	10
その他	0	0
特別損失合計	12	10
税金等調整前四半期純利益	5,403	5,212
法人税、住民税及び事業税	2,164	2,143
法人税等調整額	△582	△613
法人税等合計	1,582	1,529
四半期純利益	3,821	3,683
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,821	3,683



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	3,821	3,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△247	1,156
繰延ヘッジ損益	△13	△0
為替換算調整勘定	△1,117	84
退職給付に係る調整額	72	68
その他の包括利益合計	△1,305	1,309
四半期包括利益	2,515	4,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,515	4,992
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年1月31日開催の取締役会決議に基づき、自己株式320,300株の取得を行いました。その結果、当第1四半期累計期間において自己株式が2,780百万円増加し、当第1四半期会計期間末において自己株式が14,543百万円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	国内 家庭用 品製造 販売事 業	海外 家庭用 品製造 販売事 業	通信 販売事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,481	5,403	2,582	33,467	247	33,715	—	33,715
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,387	208	—	1,596	1,195	2,792	△2,792	—
計	26,868	5,612	2,582	35,064	1,442	36,507	△2,792	33,715
セグメント利益	4,929	730	20	5,680	210	5,891	△475	5,416

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額△475百万円は、セグメント間取引消去及び各事業セグメントに配分していない収益及び費用であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	国内 家庭用 品製造 販売事 業	海外 家庭用 品製造 販売事 業	通信 販売事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,320	5,683	2,439	33,443	292	33,735	—	33,735
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,563	276	—	1,840	1,186	3,026	△3,026	—
計	26,884	5,959	2,439	35,283	1,478	36,761	△3,026	33,735
セグメント利益	4,699	712	77	5,489	223	5,712	△493	5,219

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額△493百万円は、セグメント間取引消去及び各事業セグメントに配分していない収益及び費用であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。